



編集・発行 山村 準
tel:0595-63-1725
Email jyun.y@asint.jp

冬野菜 サル対策

冬から早春にかけて、山林の餌が乏しくなる時季、サルが他の季節より大胆に農地や集落に出没します。

この時季、農地では冬野菜や「かんきつ類」などが実っており、収穫前の作物のほか、収穫時に圃場周辺に放置した野菜や廃果をサルが狙います。

人間にとっては必要のない作物でもサルにとっては大切な餌となるものもあります。収穫後の残り物(サツマイモのつる、不要となった野菜の葉など)、稲のひこばえ、傷んで収穫できない野菜や果実等々。

サルの生態や習性を知り、何が餌付けになるのか集落のみならず理解することが重要です。

圃場を電気柵などで囲うことは有効な対策ですが、柵内のもので手出しにくくする手段にすぎません。

集落内に多数存在する収穫しないカキやユズの实などもサルの餌になり、放置しておくともサルを集落に呼び込み、慣れさせてしまう大きな要因となります。普段の行動が餌付けになっていることもあり、それに早く気づくことが大切です。

ていきます。サルに見えない場所に施錠して保存して下さい。普段の追い払いも大事です。サルの唯一の天敵は人間です。「人間は怖いぞ」と学習させることが重要です。

怖い目に遭うことの多い集落は次第に避けるようになり、集落を獣害から守るために、女性・高齢者も、積極的に追い払いに参加しましょう。

名張B群

動きが変だ!

集まっ て、新しい群れが形成される場合

7月中旬から所在不明の発信器B1・2の集団が、9月中旬遠く離れたB群エリア外の、宇陀市菟田野町周辺で目視確認されています。

エリアから2ヶ月も離れたと云うことは単なる移動ではなく、分裂したのだと確信していました。名張市農林資源室も個体調査の結果を見て然るべく対策を考えたいと云われていた矢先、

9月26日、「菟田野方面へ分裂したと思われるが西谷周辺で受信、目視しました」と指南員より報告があり驚いた次第です。以後の報告も「B1、2、3とも強受信、一体になったと思われる」。名張B群は元の状態に復帰したものとされています。

野生のニホンザルは、群れをつくって集団で一定の行動範囲の中を、常にエサを求めて遊動をしています。名張A・B群は、通常耕作地の周辺を離れずに遊動して、農業被害を起している群れです。

分裂は多くの場合、血縁集団を基本単位として起こりますが、散発的に群れから離れていったメスが中心になり、その回りにハナレザルのオスが

集まっ て、新しい群れが形成される場合も多くあるらしいです。ある特定の農耕地周辺に居着いてしまい、住民から顔を覚えられてしま

うまでになるハナレザルもいます。こうしたハナレザルはかなり大胆になり、人を脅したり、人家に侵入したりすることがあります。このようなオスが群れに入ると、時として人を怖がらず、人家近くに頻繁に出没するよう

な悪い習慣を、群れ全体に伝えることになるといわれています。今後、名張B群の動向には十分注意し見極めていく必要があります。近々個体調査の結果も判明するので、宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対

協議会は、それに対処した対策を立てるといっています。

第4期 M・D育成訓練再開

適正検査 三重県が 獣害対策の 再強化のため、モンキードッグの育成事業を助成。これを受けて去る10月10日、宇陀市室生グランドで、

「宇陀名張地域鳥獣害防止広域対策協議会」がモンキードッグ4期生候補を募集したが、名張市・宇陀市とも募集PR不足のため、応募者は非常に少なく名張市3頭、宇陀市3頭の合計頭となつています。応募犬地域の飼い主さん方は、獣害対策意識の高い地域、特に「猿害」をどうにかしようと考えている方々です。

今回、4期生の訓練は、奈良県警察犬訓練所「あすかドッグスクール」島田 紀子氏が担当。適性テストは従来の各応募犬家庭への訪問によるチェックと異なり、候補犬6頭(1頭欠)全部が集まった中で行われました。チェック点は「人や他の犬に対する攻撃性」、「飼い主の呼びかけに対する犬の反応」、「眼前に異物が動くものに関する反応」などを個々チェックされ、厳しい島田訓練士の目から幸いにして応募犬5頭ともモンキードッグ候補育成犬として適正と判断されました。島田訓練士は、「あなた方(飼い主と育成犬)には、一般的家庭犬訓練

を施すのではなく、あくまでも人間の役に立つ野生獣追い払い犬(用益犬)として訓練します。それには徹底的な『呼び戻し』の訓練を重点にして、卒業時には『ノーリード』で飼い主に服従できる犬になるよう、飼い主とワンちゃん共々頑張りましょう」という熱い訓示がありました。(記事 島山氏提供)



ゴン太君 (夏秋)



くーたん君 (つじが丘)

頑張つてや! 写真II適性検査に合格した犬達。

育成訓練 開講式が次の通り執り行われることになりました。 日時 平成25年10月29日(火)午後1時30分 場所 宇陀市室生健民グラウンド 訓練士 奈良県警察犬訓練所「あすかドッグスクール」 島田 紀子氏 主催 宇陀・名張地域鳥獣害防止広域対協議会



ペコ君 (深野)



一休君 (天野)



シロウ君 (二ノ井)

10月のサルの動向 指南員報告 A群は、先月頃から一集落にとどまることが少なく、比奈知湖、青蓮寺湖周辺の山栗、柿、あけび等を狙って頻繁に往来している。 B群・先月末に菟田野方面に移動していたB1、2を西谷周辺で受信、目視して以来、約2週間ほどはB3群とは、お互い警戒しあつて距離を置いて移動していたが、今月中頃からB1、2、3発信機の群れを、同じ場所を受信、目視する日々が多くなっている。 尚、今まではサルの被害報告も少なかったが、近頃は被害の報告が多くなったように思います。

サルの出没状況 名張A・B群 名張B群は宇陀市東部から名張市南西部にかけて49kmの行動域を持つております。平成25年7月上旬頃から群れの行動域に変化があり、これまでB群の出没の殆どなかった宇陀市菟田野町周辺にまで出沒し農業被害が大きくなつています。 個体数調査が年末実施の予定になっており、対策はその結果待ちといったところであります。最近ハナレザルが進み住居への侵入など、生活環境被害も拡大傾向にあります。

